

# GetTimelineプラグイン

## はじめに

GetTimelineを使えば、自分のタイムラインをMovable Typeに取りこむことができます。各Tweetは1つのブログ記事になり、特定のユーザー名やキーワードでカテゴリーに自動的に割当てます。企業アカウントを複数の担当者と確認したり、タイムライン上の特定のキーワードやユーザーを追ったりといったことがより手軽に行えます。

## インストール

### プラグイン

本パッケージに含まれる「GetTimeline」ディレクトリを、Movable TypeのPluginsディレクトリ以下の設置してインストールします。また、このプラグインを利用するには、以下のPerlモジュールが予めご利用になるサーバで使用できる必要があります。必要にあわせてインストールを行なってください。

※ 動作には以下のPerlモジュールが必要です。

- LWP::UserAgent
- Net::OAuth::Simple
- Digest::SHA1
- Digest::HMAC\_SHA1
- Net::Twitter::Lite
- HTTP::Date
- Regexp::Assemble

インストール後プラグインを有効にすると、以下のカスタムフィールドが作成されます。

- つぶやきに利用されたアプリケーション
- つぶやきのパーマリンク
- つぶやきの日付と時刻
- ツイートID
- ユーザーのアイコンのURL
- ユーザーID
- ユーザー名
- リツイートしたユーザー
- リツイート日時
- protected

- 地域情報
- Twitterユーザー名（カテゴリ）
- 対象キーワード（カテゴリ）

## テーマ

---

本パッケージに含まれる「theme\_from\_get\_tweet」ディレクトリを、Movable Typeインストールディレクトリにある「themes」ディレクトリ直下にコピーしてください。

※ 取得するデータ（記事数）が多い場合は、個別アーカイブのみダイナミックパブリッシングに設定することをお勧めいたします。

## 使い方

---

### 1. プラグインの有効化

---

1. プラグインを有効にしたいブログの **ツール > プラグイン** から GetTimeLine を選択します
2. **設定** をクリックして、**プラグインの有効化** にチェックを入れます

### 2. OAuthによる認証

---

1. プラグイン設定画面 **OAuthによる認証** をクリック
2. モーダルウィンドウが立ち上がるので **PIN番号を取得する** をクリック
3. Twitterのウェブサイトにつながりますので、**ID、PASSを入力** PIN番号を取得
4. モーダルウィンドウ内のテキストフィールドに **PIN番号を入力**
5. 実行ボタンを押す

### 3. 各種設定

---

プラグイン設定の各項目については以下の機能をもっています。

- プラグインの有効化：このブログでプラグインを有効にする場合はチェックしてください。
- 認証：OAuthによる認証を行います
- 非公開ユーザーのつぶやきを公開しない：非公開のつぶやきを取得した場合、エントリーのステータスを非公開に設定します。
- Since ID：プラグインの設定後自動で入力されます
- URLをリンクに変換：取得したつぶやきにURLが含まれている場合は、自動的にリンクに変換します。
- 投稿者ID：エントリーを作成するユーザーのIDを数字で入力します。
- インデックスの再構築：つぶやきの取得時にインデックステンプレートを再構築し

ます。

- カテゴリーの再構築：つぶやきの取得時にカテゴリーテンプレートを再構築します。
- パーマリンクの再構築：つぶやきの取得時にパーマリンクを再構築します。エントリー取得数が多い場合はパフォーマンスに影響がある場合があります。
- 保存時にタスクを実行：この設定の保存時にタイムラインの取得を起こす。

## 4. 設定の保存

1~3の後 **設定の保存** をクリックしてください。

設定を保存するとプラグインの設定が有効になり、Twitterのタイムラインの取得が始まります。

(タイムラインの取得にしばらく時間がかかる場合があります。)

## ツイッターから情報を取得する

1. 既存のカテゴリー(もしくは新規にカテゴリーを作成し)、カテゴリーの編集を開きます。
2. 対象キーワードに内容を入力します。対象キーワードに該当した場合、このつぶやきを元にして作成されるエントリーにはこのカテゴリーを自動的に割当てます。複数の文字列をスペースで区切って指定してAND検索することも可能です。
3. Twitterユーザー名を入力します。Twitterユーザー名該当した場合、このつぶやきを元にして作成されるエントリーにはこのカテゴリーを自動的に割当てます。

## タグの一覧

GetTimelineプラグインをインストール、プラグインを有効にすると以下のタグが使えるようになります。

### <mt:gettweetappname>

つぶやきに利用されたアプリケーションを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetpermalink>

つぶやきのパーマリンクを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetdatetime>

つぶやきの日付と時刻を出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweettweetid>

ツイートIDを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweeticonurl>

ユーザーアイコンのURLを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetuserid>

ユーザーIDを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetusername>

ユーザー名を出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetretweetedfrom>

リツイートしたユーザーを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetretweeteddattetime>

リツイート日時を出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetprotected>

protectedを出力するファンクションタグです。

### <mt:gettweetgeoinfo>

地域情報を出力するファンクションタグです。

## タグの使用例

```
<mt:entries>
<div class="tw-box">
  <div class="tw-icon">
    " width="48" height="48" />
  </div>
  <div class="tw-body">
    <mt:entrybody>
  </div>
  <div class="tw-status">
    <a href="<mt:gettweetpermalink>"><mt:gettweetuserid></a> | <mt:gettweetdatetetime>
  </div>
</mt:entries>
```

## 更新履歴

- [2011-02-14 : ver.1]
  - 最初のリリース

## このプラグインの利用、及び著作権や保証について

このプラグインの著作権はAlliance Port, LLCが所有しています。著作権者の許可なく本プラグインを使用、改変、再配布することはできません。

## 連絡先

作者：[Alliance Port, LLC](#)